



多くの人に支えられ、伸びる子ども

教務主任 柳瀬 明

今年度も5月29日(金)、5月30日(土)に第97回教育研究実践発表会を開催することができました。県内外から、教育関係者のみならず、教員を志望する大学生、堀川小学校OBの先生、あるいは、他の職種の方等、多くの方にご参加を賜り、子どもたちの様子を見ていただくことができました。

堀川小学校では、研究主題を「自己実現をはかる教育一人間としての成長を目指して」とし、日々の学習のみならず、様々な教育活動において、子どもが学校のくらしの中でやりがいを見付け、身体をかけて取り組み、豊かな感性を育むことを大切にしています。「朝活動」では、自分の見付けたことから、進んで環境にはたらきかけ、自らの願いを達成していくことを大切にしています。「くらしの時間」では、仲間と聞き合う中で、互いを理解したり、自分をみつめ見直したりして、くらしをつくっていく土壌を育てています。そして、「自主活動」では、目指す自分に向かって、活動や方法を自分で選び、力を高めることを大切にしています。そして、子どもの学びを支える「授業」では、日頃の自己研修課題や学級経営の方針を基に、子どもが学び合うことを大切にしています。以上、本校の教育活動の四本柱を中心に今回の研究会においても、学級毎に生まれるストーリーがたくさんあったようです。



【汚れをこすり落とす子ども】



【自分の思いを語る子ども】

○ 5年社会科「わたしたちのくらしと放送局」の子どもの姿から

今年度、新たに本校に勤務することになった教師も、わずか2か月余りで、全国の先生方に授業を公開しました。Aさんは、テレビ局で働く人にインタビューしたことから、テレビというメディアを通して全国に一つの情報を提供するために、心がけていることやそこに係る苦労等、自分が予想していた以上の人々の思いと気遣いや慎重さがあることに気付いたことで、自分たちのくらしの在り方を考えていました。Aさんやそれを聞いていた仲間は、手軽に必要な情報だけを手に入れることができるインターネットを利用することが多かったのですが、雑多で玉石混交の溢れる情報よりも、多くの苦労や視聴者への心配りがされたテレビの情報の有難さを実感していたようです。

○ 4年体育科「わたしはモンスターー表現運動ー」の子どもの姿から

4年生では体育科の学習で表現運動をしています。教師は、ねらいをもって学習を設定したり、本時の授業の構想を立てたりしますが、子どもの学びの様相は教師の意図とは異なり、子どもなりに表現を楽しむ様子が見られました。毎時間の学習の最初には、表現することに慣れ、様々な動きを引き出すために、表現遊びをしていました。表現かるたをめくり、そのかるたに記されている内容を身体で表現します。嬉しそうにフロアに転がったり、身体の細部まで使って、独創的な動きでなりきったりする様子が見られました。自己を表現する恥ずかしさもあるのですが、子どもの世界の中で身体を合わせたり、笑い合っただけのかけ合いをしたりしながら心を解放し、心地よく表現を楽しむ様子が見られました。



【表現を楽しむ子ども】

たくさんの授業の中で、子どもは学級という集団において安心したり葛藤したりしながら、今の自分の学びをよりよく発展したり、仲間の考えを聞いて更に問題意識を強めたりして、誠実に学びに向かう姿がありました。それは、多くの人々の支えや手助け、つながりの中で安心して学ぶことができることが大きな要因だと思います。本研究会では、有成会の方々にも運営をお手伝いいただきました。また、地域の方々にも、研究会に参加いただいたり、朝早くから本校職員を気遣って足を運んでくださったりと、本当に多くの方々を支えられて、子どもたちもわたしたちも堀川で学ぶことができているのだと思います。そのような幸せとともに、多くの方々の期待を感じながら、本校の教育活動を進めて参ります。今後もご支援、ご助言を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

6月の行事予定

- 1日(月) 市小教研(午後短縮) 集金振替日
- 2日(火) 市小教研(事務部会) プール清掃(5年)
- 3日(水) 内科検診(1年、なかよし級)
- 4日(木) 堀川チャレンジ活動② 眼科検診(全校)
- 5日(金) 尿検査(第二次)
- 8日(月) 1年校外学習(布瀬南公園方面) 教育相談①
実感・体験学習会(2年) 尿検査(予備日)
- 9日(火) 4年校外学習(クリーンセンター等)
6年校外学習(立山博物館等) 教育相談②
- 10日(水) 内科検診(4年) プール開き 教育相談③
- 11日(木) 耳鼻科検診(1・3・5年)
委員会活動③ 教育相談④
- 12日(金) 学習参観(5限) 避難訓練(引き渡し)
- 15日(月) 小中連携挨拶運動① マレーシア交流会(4年)
3年校外学習(市役所等)
- 16日(火) 小中連携挨拶運動② 内科検診(5年)
2年校外学習(中央植物園)
- 17日(水) 情報モラル①(5年)
- 18日(木) 情報モラル②(5年) 堀川チャレンジ活動③
- 22日(月) BFCバッジ授与式(5年)
- 23日(火) 学校訪問研修会(午後短縮)
- 24日(水) 金銭教育(6年) 図書館学校招待(~26日)
- 25日(木) 第2回学校運営協議会 委員会活動④
- 26日(金) 給食試食会 5年校外学習(イタイタイ病資料館)
- 30日(火) 第4学年集団宿泊学習①(呉羽)



7月の行事予定

- 1日(水) 集金振替日
第4学年集団宿泊学習②(呉羽)
- 2日(木) 児童集会 堀川チャレンジ活動④
- 3日(金) 近隣ファミリー一会・地域教育推進協議会
- 6日(月) 個別懇談会① 立山事前学習(6年)
- 7日(火) 個別懇談会②
- 8日(水) 個別懇談会③
- 9日(木) 個別懇談会④
- 10日(金) 個別懇談会⑤ すこやか検診(4年)
- 14日(火) ガラス美術館スクールプログラム(4年)
- 15日(水) 避難訓練
- 16日(木) 委員会活動⑤
- 18日(土) ユネスコ教室 9:00
- 20日(月) 海の日
- 23日(木) 堀川チャレンジ活動⑤ 給食最終日
- 24日(金) 第一学期終業式
- 27日(月) 夏季休業日(8月26日まで)



飽くなき探究心

4年3組 太田 聖久

理科「動物の体-きん肉とほね-」の学習のことです。人体模型を見て、腕の筋肉と骨のつくりを観察していたAさんは、動物による筋肉や骨の配置と形状の違いが気になりました。まずは、動物の動きを観察しながら、それぞれの動物の体のつくりを調べ始めようと試みました。まずは、最も身近な「人間」に着目したAさんは、腕がスムーズに曲げ伸ばしができる体のつくりになっていることに気がきました。次に、それぞれの動物がもつ特有の動きと体のつくりに関連性があると考えたAさんは、独自の動きをする動物の中から「鳥」に注目しました。早速、鳥の観察を始めたAさんは、趾(あしゆび)が4本だということに気がきました。人間の足の指よりも1本少ないことに疑問を感じたAさんは、更に観察を続けました。すると、枝等の棒に掴まり、体が様々な方向に傾いても安定して姿勢を保持することに、趾が理にかなっていることを発見しました。Aさんは、予想した通りの結果を見付け、動物の体のつくりと機能の関連性があることに手応えを感じ始めてきました。

そのような中、聞き合いの時間を迎えました。はじめにBさんが「動物は生きるために絶対に骨が必要だと思う。もし骨がなかったら、このゴム人形みたいに立てないし、潰れてしまって内臓も守れない」と話しました。それを聞いたAさんは、「鳥の趾は全部で4本あって、その1本1本の間が広がっているのは物に掴まりやすいようにするためかもしれない。人間の足に5本の指があるのは、歩いたり走ったりしやすくなるためだと思う。やはり、動物は生きるために適した形になっている」と話しました。人間における骨の役割が見えてくることで、鳥の趾の形状にも意味があると考え、そうした合理性が他の動物に当てはまるのではないかと考え始めたAさん。そして、自分を含めた人間の体のつくりにも再度立ち戻り、人間のくらし方へと想像を広げる契機となりました。次の学習の時間には、その予想を確かめようとファミリーパークからいくつもの動物の骨を借り、更なる仮説の検証を進めています。

現在、人間の体のつくりにも目を向けているAさんは、自分の手足には多くの関節があることに着目し、それらも一つ一つにも意味があると考えています。そして、自らの関節を固定して生活してみることで、その有用性の検証を試みています。これからも、動物の体のつくりや、現在のような骨格や筋肉をもつようになった背景に迫りながら、動物が環境に適応していこうとする生命の生き抜く力を感じていくことでしょう。Aさんをはじめとする子どもの飽くなき探究心には、驚かされるばかりです。

